

## 福岡県生物多様性戦略の改訂の考え方

## 1. 戦略の構成と今回改訂部分

福岡県生物多様性戦略	福岡県生物多様性戦略第2期行動計画	今回改訂
第1章 戦略策定にあたって <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生きものに支えられる私たちの暮らし</li> <li>2. 生物多様性とは</li> <li>3. 策定の背景</li> <li>4. 生物多様性をめぐる国内外の動向</li> <li>5. 戦略の基本的事項</li> </ol>	序章 第2期行動計画の策定にあたって <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生きものに支えられる私たちの暮らし</li> <li>2. 生物多様性をめぐる国内外の動向</li> <li>3. 戦略策定の背景</li> <li>4. 戦略で目指す社会と目標</li> <li>5. <b>第1期行動計画の概要と取組実績</b></li> </ol>	情報更新
第2章 生物多様性の現状と課題 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福岡県の生物多様性の特徴とそれを支える背景               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生物の生息・生育環境の基盤</li> <li>(2) 福岡県の生物多様性の特徴</li> <li>(3) 人と自然の関わりの歴史</li> </ol> </li> <li>2. 生物多様性の現状と課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 県内の絶滅危惧種の状況</li> <li>(2) 生態系別の現状と課題</li> <li>(3) 人づくり・仕組みづくりの現状と課題</li> </ol> </li> </ol>		情報更新
第3章 目指す社会と目標 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 目指す社会(2050年に実現すること)</li> <li>2. 目指す社会のイメージ               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 2050年の人々のくらしや社会のようす</li> <li>(2) 2050年の各地域のイメージ</li> </ol> </li> <li>3. 行動目標(10年間に達成すること)</li> </ol>		必要に応じて 情報更新 新行動目標
第4章 行動計画 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 私たちの暮らしのなかで生物多様性を育みます               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 県民への普及啓発</li> <li>(2) 教育・学習の機会を活用した啓発</li> <li>(3) 自然とのふれあいの促進</li> <li>(4) 生物多様性に配慮したライフスタイルの浸透</li> </ol> </li> <li>2. 生物多様性の保全と再生を図ります               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生態系ネットワークの形成</li> <li>(2) 重要地域の保全</li> <li>(3) 野生生物の適切な保護と管理</li> <li>(4) 地球温暖化対策との連携</li> <li>(5) 環境影響評価制度の充実・強化</li> <li>(6) 生物多様性に配慮した公共工事の推進</li> </ol> </li> <li>3. 生物多様性の持続可能な利用を図ります               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生物多様性に配慮した農林水産業の推進</li> <li>(2) 里地里山里海の適切な利用と管理</li> </ol> </li> <li>4. 生物多様性を支える基盤とネットワークを構築します               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 行政施策への浸透</li> <li>(2) 多様な主体の参画促進</li> <li>(3) 連携促進によるネットワーク化</li> <li>(4) 人材育成と活用</li> <li>(5) 調査研究の推進</li> </ol> </li> </ol>	第4章の2 第2期行動計画 第2期行動計画の施策体系 第2期行動計画の策定の視点 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 私たちの暮らしのなかで生物多様性を育みます               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 県民への普及啓発</li> <li>(2) 教育・学習の機会を活用した啓発</li> <li>(3) 自然とのふれあいの推進</li> <li>(4) 生物多様性に配慮したライフスタイルの浸透</li> <li>(5) <b>生物多様性を活用した魅力ある県土づくり・地域づくり</b></li> </ol> </li> <li>2. 生物多様性の保全と再生を図ります               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生態系ネットワークの形成</li> <li>(2) 重要地域の保全</li> <li>(3) 野生生物の適切な保護と管理</li> <li>(4) 地球温暖化対策との連携</li> <li>(5) 環境影響評価制度の適切な運用</li> <li>(6) 生物多様性に配慮した公共工事の推進</li> </ol> </li> <li>3. 生物多様性の持続可能な利用を図ります               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生物多様性に配慮した農林水産業の推進</li> <li>(2) 里地里山里海の適切な利用と管理</li> </ol> </li> <li>4. 生物多様性を支える基盤とネットワークを構築します               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 行政施策への浸透</li> <li>(2) 多様な主体の参画促進</li> <li>(3) 連携促進によるネットワーク化</li> <li>(4) 人材育成と活用</li> <li>(5) 調査研究の推進</li> </ol> </li> </ol>	新行動計画
第5章 推進体制と進行管理 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 推進体制</li> <li>2. 進行管理</li> <li>3. 指標</li> </ol>	第5章の2 推進体制と進行管理 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 推進体制</li> <li>2. 進行管理</li> <li>3. 指標</li> </ol>	情報更新 新数値目標
資料編 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福岡県生物多様性戦略策定の経緯及び体制等</li> <li>2. 県民の意向把握</li> <li>3. 戦略推進に際して参考となるその他の指標</li> <li>4. 用語解説</li> </ol>	資料編2 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>福岡県生物多様性戦略第2期行動計画とSDGs、愛知目標との関連</b></li> <li>2. 福岡県生物多様性戦略第2期行動計画策定の経緯及び体制等</li> <li>3. <b>福岡県生物多様性戦略第1期行動計画の実施状況と評価</b></li> <li>4. 県民の意向把握</li> <li>5. 戦略推進に際して参考となるその他の指標</li> <li>6. 用語解説(追補)</li> <li>7. 引用文献</li> </ol>	情報更新

太字:第2期行動計画策定に当たって、新たに追加した項目

## 2. 改訂の検討方法

	主な改訂内容	検討方法
第1章	国内外の動向	事務局案を提示
第2章	生物多様性の現状と課題	事務局案を提示（業者に委託）
第3章	次期行動目標（10年）	<b>専門委員会で検討</b> ※前回策定時は、委員各々がワーキンググループ会議を開くなどして、4つの行動目標を設定
第4章	次期行動計画（5年）	事務局案を提示
第5章	次期数値目標（5年）	
資料編	第2期行動計画の実施状況	

## 3. 次期行動目標、行動計画の検討に当たって参考となる考え方

- (1) 「生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書」(IPBES) 2019.5
- ・このままでは、愛知目標やSDGsは達成されない。
  - ・経済・社会・政治・科学技術の**横断的な社会変革**により、2030年の目標等を達成できるかもしれない。
- (2) 「地球規模生物多様性概況第5版」(GBO5) 2020.9
- ・「生物多様性の保全・再生」、「気候変動への行動」、「他の圧力の低減」、「持続可能な生産」、「消費の削減」の様々の分野での行動を、**個別ではなく連携することが必要**
  - ・2050年ビジョン達成に向けて**変革・移行**が必要な8分野
    - ① 土地と森林
    - ② 農業
    - ③ 都市とインフラ
    - ④ 淡水
    - ⑤ 気候行動
    - ⑥ ワンヘルス
    - ⑦ 食料システム
    - ⑧ 漁業と海洋